



施策  
3-①

# 環境にやさしいまちづくりを推進する

## 現状と課題

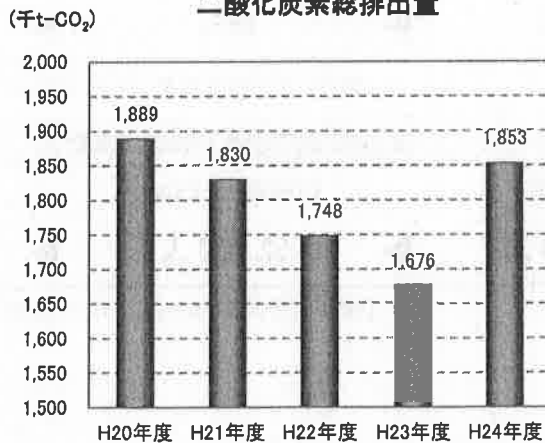
### 現状

- 温室効果ガス排出量の削減に向けて、国際的な取組みが求められる中、本市においても市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化対策を推進しています。
- 本市の二酸化炭素排出量は、平成 20 年度以降、減少傾向が続いていましたが、平成 24 年度には、全国の総発電量のうち火力発電の比重が増えたことで、1,853 千 t-CO<sub>2</sub> となり、平成 23 年度から大きく増加しています。
- 事業者による環境負荷の低減に向けた活動や法令遵守の徹底を促進し、生活環境の保全を図っています。

### 課題

- 本市の二酸化炭素排出量は、産業部門が最も多く、また、総排出量に占める家庭などからの排出量の割合も高まっています。
- 市民や事業者の日常的なエネルギー消費が、二酸化炭素の排出の大きな要因となっていることから、それぞれの自律的、自主的な地球温暖化対策が求められています。
- 大気や水質環境の改善が見られるものの、光化学オキシダントや微小粒子状物質等については、環境基準が達成されていません。

二酸化炭素総排出量



(出典: 担当課資料)

## 取組み方針

- 市民や事業者が地球温暖化に対する知識や理解を深め、適切な対策や行動をしていけるよう、学習機会や情報の提供等により、暮らしや事業活動における二酸化炭素排出量の少ないエネルギー利用等の取組みを促進します。
- 環境測定や環境情報の発信、事業者への指導などにより、市民や事業者の環境保全に対する意識向上を図ります。

## 主な事業

- 地球温暖化対策の推進
- 公害防止対策の推進

## 成果指標

### 二酸化炭素総排出量

現状値                      目標値 (H31)                      目標値 (H35)

1,853 千 t-CO<sub>2</sub>    ▶    1,603 千 t-CO<sub>2</sub>    ▶    **検討中**

【備考】現状値は平成 24 年度中のもの。(担当課資料)  
目標値 (H31) は平成 29 年度の、目標値 (H35) は平成 33 年度中の二酸化炭素排出量を指標とする。

### 大気汚染に係る環境基準達成率

現状値                      目標値 (H31)                      目標値 (H35)

76%                      ▶                      80%                      ▶                      **検討中**

【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。(担当課資料)

施策  
3-2

# 自然環境の保全を推進する

## 現状と課題

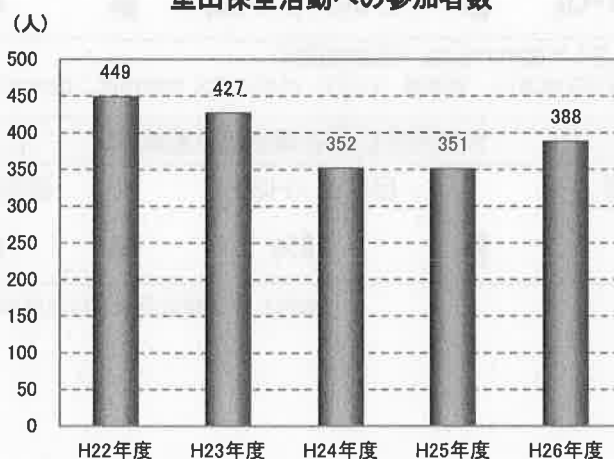
### 現状

- 本市は、丘陵地、河川や海などの多様で豊かな自然環境に恵まれており、その自然環境に多くの市民が魅力を感じています。
- 土屋地区や吉沢地区を中心とした西部丘陵地域には、まとまったみどりが広がり、貴重な自然環境が残されています。

### 課題

- 都市化の進展や生活環境の変化に伴い、日常生活の中で自然とふれあう機会が減少しており、自然環境に対する理解が不足し、環境保全への意識や活動の低下につながる懸念されます。
- 人の手が入らなくなったことで、里山が荒廃し、里山の持つ多様な動植物を育む空間としての機能や美しい自然景観が失われてきています。

里山保全活動への参加者数



(出典:担当課資料)

## 取組み方針

- 市民等との協働による里山体験事業などを行い、身近な自然環境との触れ合いや体験等を通じて、市民の環境に対する意識の向上を図ります。
- 市民の環境に関する知識の習得や活動を支援し、市民が主体となった環境保全活動を高めます。
- 地域住民や学術機関などとの連携を深めながら、自然資源や地域資源を活かした交流やレクリエーションの場づくりを推進します。

## 重点事業

- 環境啓発活動の推進
- 里山保全活動の推進

## 成果指標

### 里山保全活動への参加者数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
388 人	▶ 400 人	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。(担当課資料)

### 環境学習への参加者数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
1,020 人	▶ 1,100 人	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。(担当課資料)

施策  
3-③

# 循環型社会の形成を推進する

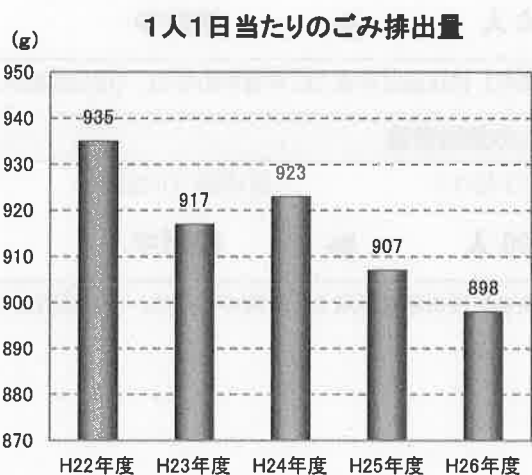
## 現状と課題

### 現状

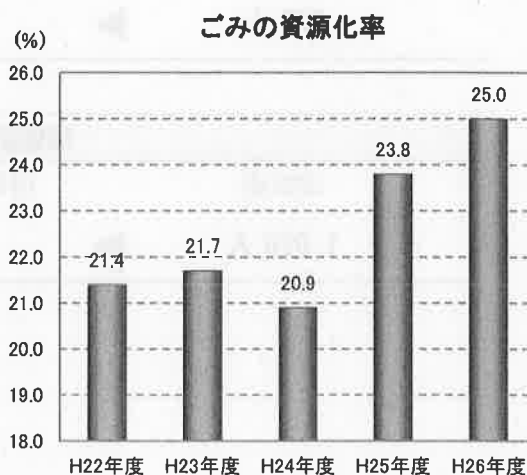
- ごみ処理広域化により、大磯町や二宮町と連携して循環型社会の実現に向けた取組みを推進しており、平成25年10月からは、中核施設として発電設備を有する新しいごみ焼却施設が稼働しています。
- 市民等によるごみの減量化の取組みが進むことにより、市民1人1日当たりのごみ排出量が減少傾向となっています。
- 焼却灰の資源化やごみ排出量の減少などに伴い、ごみの資源化率が上昇しています

### 課題

- 可燃ごみの中には、依然、紙や容器包装プラスチックなどの資源化が可能なごみの混入が見られます。
- 事業系一般廃棄物については、市内に店舗等を有する事業者の適正排出や排出抑制の意識が希薄な場合、ごみ排出量増加の懸念があります。



(出典:担当課資料)



(出典:担当課資料)

## 取組み方針

- ごみに関する情報提供や普及啓発、環境教育等を行うことにより、市民の自主的な取組みを促進し、ごみの排出抑制、減量化及び資源化を推進します。
- 排出事業者や一般廃棄物収集運搬許可業者には、適正排出の徹底や各種リサイクル法の遵守等について普及啓発を行っていくほか、多量排出事業者には、減量化等計画書の提出や現地確認の実施などを通じて事業系一般廃棄物の排出抑制、減量化及び資源化を促進します。
- 環境事業センターのごみ焼却に伴い発生する熱エネルギーを活用した余熱利用施設の整備を進めます。

## 主な事業

- ごみの排出抑制、減量化及び資源化の推進
- 余熱利用施設の整備

## 成果指標

### 1人1日当たりのごみ排出量

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
898 g	▶ 894 g	▶ 検討中

【備考】現状値は平成26年度中のもの。(担当課資料)

### ごみの資源化率

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
25.0%	▶ 26.5%	▶ 検討中

【備考】現状値は平成26年度中のもの。(担当課資料)

ごみの資源化率とは、ごみの総排出量に占める資源化できた量の割合。

施策  
3-4

# 快適な生活環境の形成を推進する

## 現状と課題

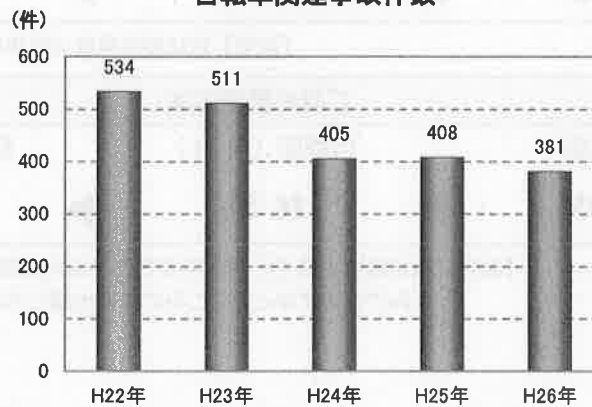
### 現状

- 超高齢社会を迎え、誰もが暮らしやすい環境づくりが求められています。
- 日常生活で利用する道路や暮らしを支える公共下水道などの市民生活に欠かせないインフラ施設の整備を計画的に進めています。
- 本市は地形が平坦であることから、多くの市民が通勤や通学、買物などの移動手段として自転車を利用しています。

### 課題

- 人口減少、少子高齢化などの人口構成の変化に対応したまちづくりが必要です。
- 高度経済成長期に整備された橋りょうや公共下水道などのインフラ施設の老朽化が進行し、更新時期が集中して到来します。
- 自転車関連の事故は多く、また放置自転車については駐輪場の整備などにより一定の効果は上げつつも、解消には至っていません。

自転車関連事故件数



(出典:平塚警察署資料)



## 取組み方針

- まちの魅力を向上させるため、中心市街地などの景観形成やバリアフリー化などに対応するとともに、地域の自主的な美化活動を支援し、誰もが歩いて暮らせる安全で快適な住環境づくりを進めます。
- 今後も市民が安全、快適な暮らしをおくり続けられるよう、引き続き、道路や公共下水道などのインフラ施設の整備を進めるとともに、併せて計画的な施設の機能維持を進めます。
- 自転車が安全、快適に走行できる環境づくりと利用形態のニーズを把握したうえでの駐輪対策を進めます。

## 重点事業

- 橋りょうの機能維持
- 公共下水道の機能維持
- 自転車を利用しやすい環境づくり

## 成果指標

### 橋りょう長寿命化の実施率

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
4%	53%	検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 公共下水道(合流区域)長寿命化の整備進捗率

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
4%	37%	検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 自転車関連事故の発生件数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
381 件	260 件	検討中

【備考】現状値は平成 26 年中のもの。(担当課資料)

### 駅周辺の放置自転車台数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
296 台	200 台	検討中

【備考】現状値は平成 26 年 10 月の調査日のもの。(担当課資料)

施策  
3-⑤

# 花とみどりにあふれるまちづくりを推進する

## 現状と課題

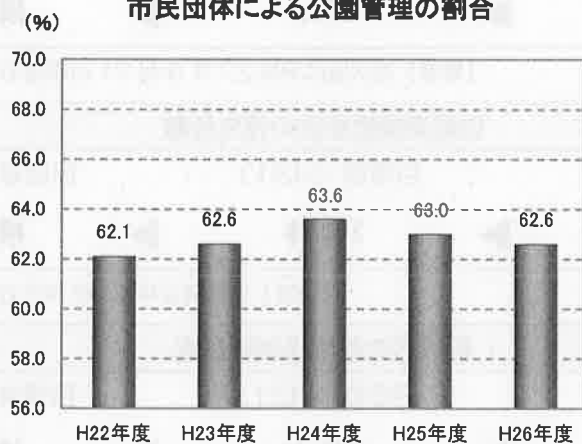
### 現状

- 市内の都市公園の中には、平塚市総合公園や湘南海岸公園など大規模な公園もあり、市民に親しまれているだけでなく、市外からも多くの方が訪れています。
- 半数以上の公園で公園愛護会が結成されているなど、市民参加による身近な公園づくりが進められています。
- 各種イベントの開催のほか、生垣設置への助成や保全樹の指定など、都市空間において日常的に花やみどりにふれあえる環境づくりを進めています。

### 課題

- 公園愛護会などの市民団体においては、会員の高齢化や新規会員の伸び悩みにより、活動時における人員が不足傾向にあります。
- 開設から30年以上が経過した公園が全体の約4割を占め、公園施設の老朽化が進んでいるため、施設の安全確保が課題となっています

市民団体による公園管理の割合



(出典:担当課資料)

## 取組み方針

- 市民の緑化意識の高揚のために、新規公園愛護会の結成の働きかけや、花苗などの配布による市民活動の充実に向けた支援を行います。
- 多くの市民が快適で安心・安全に利用できる公園の環境づくりに向けて、計画的に公園の再整備を進めます。
- 県内でトップクラスの生産量を誇り、平塚市の特産品であるバラをはじめとした花のまちづくりを進めます。

## 重点事業

- 市民団体と協働による公園管理の推進
- 地域の特性を考慮した公園の再整備
- 花の名所づくりの推進

## 成果指標

### 市民団体による公園管理の割合

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
62.6%	▶ 63.0%	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 地域の特性を考慮し再整備が図られた公園数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
—	▶ 2 箇所	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 花の名所の箇所数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
4 箇所	▶ 5 箇所	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

施策

3-⑥

# 交通の利便性を高める

## 現状と課題

### 現状

- 本市は鉄道駅が1つしかなく、また移動手段別の割合では自動車の利用割合が最も高くなっています。
- 路線バスは、平塚駅を中心とした放射方向に多くの路線が運行されており、居住地から平塚駅までの移動手段として多くの人に利用されています。
- 幹線道路の多くは、平塚駅を中心とした放射方向に位置しています。

### 課題

- 平塚駅周辺では、朝の通勤通学の時間帯を中心として、路線バス、自動車、自転車などの交通混雑が発生しています。
- 平塚駅から離れた一部の地域ではバス停までの距離が徒歩圏から外れるなど、路線バスの利用に不便な地域がみられます。また、運行距離が長い路線では、道路渋滞の影響を受けやすくなっています。
- 東西方向の道路が不足していることから、中心市街地周辺に交通が集中し、交通の負荷が高まっています。

## 取組み方針

- 公共交通と自転車を中心とした人と環境にやさしいまちをめざし、各交通手段の利用圏域に応じた交通体系の構築を進めます。
- 路線バスの待合い環境や走行環境の整備などによる公共交通の利用しやすい環境づくりを進めます。
- 東西方向の広域幹線道路による放射方向の交通の適切な誘導と市外とを結ぶ幹線道路などの整備を進めます。

## 重点事業

- 路線バスを利用しやすい環境づくり
- 幹線道路の整備推進

## 成果指標

### 路線バスの乗り継ぎ環境の整備進捗率

現状値		目標値 (H31)		目標値 (H35)
59%	▶	65%	▶	検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 幹線道路のボトルネック交差点の改良進捗率

現状値		目標値 (H31)		目標値 (H35)
12%	▶	40%	▶	検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

施策  
4-①

# 産業の活性化を促進する

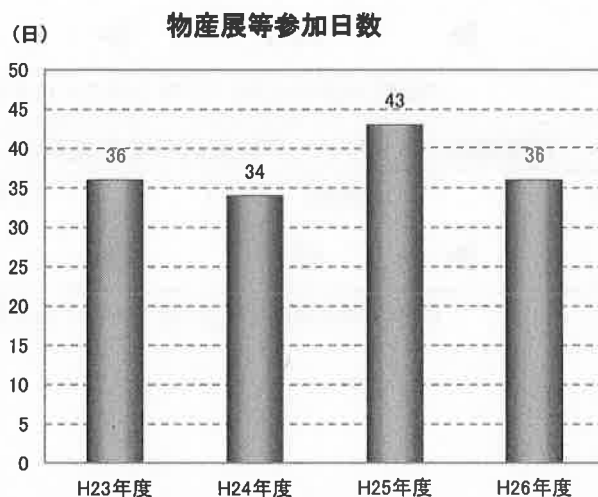
## 現状と課題

### 現状

- 産業団体や事業者・行政・大学等が連携し、本市独自の新品や技術の開発に向けた取組が進められています。
- 地域経済を発展させ雇用を生み出すために、産業団体や金融機関等と連携し、創業を支援しています。
- 市民に身近に感じられる、生活に密着した産業の発展が求められています。

### 課題

- 地域産業の発展につながる、製品開発や販路開拓等のための相談内容が多様化しています。
- 創業後に生じる様々な問題を解決できないと安定的な経営は困難です。
- 名産品、特産品等の地場産品の市内外への認知度が十分に高まっていません。



(出典:担当課資料)

## 取組み方針

- 事業者に対する金融支援や様々な課題解決に向けた総合的な支援体制づくりを進めることで、産業の活性化に取り組みます。
- 創業へのきっかけづくりから創業後の経営指導までの一連の支援を、産業団体や金融機関等と連携して拡充することで、創業しやすい環境づくりを進めます。
- 生産者と市民によるふれあいの場を充実させるとともに、市内外へのイベント参加によるPR活動や常設販売拠点の展開などを通じ、地場産品を市内外に広めていきます。

## 主な事業

- 産業間連携の促進
- 創業者の支援
- 地場産品の普及促進

## 成果指標

### 新商品等開発支援件数（累計）

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
4 件	29 件	検討中

【備考】現状値は平成27年3月31日現在のもの。（担当課資料）

### 創業者数

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
9 人	20 人	検討中

【備考】現状値は平成27年3月31日現在のもの。（担当課資料）

### 名産品協議会が各種物産展等に出店した日数

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
36 日	35 日	検討中

【備考】現状値は平成26年度中のもの。（担当課資料）

施策  
4-②

# 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する

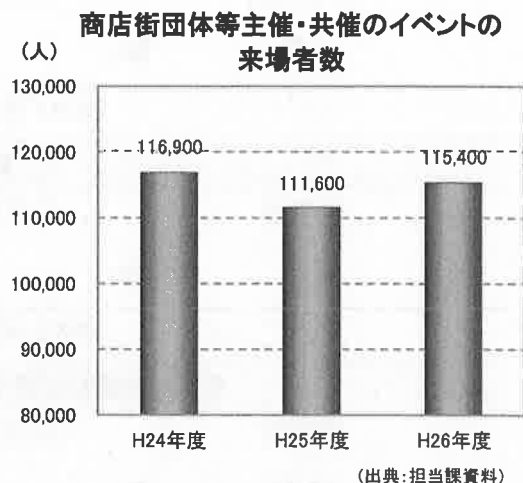
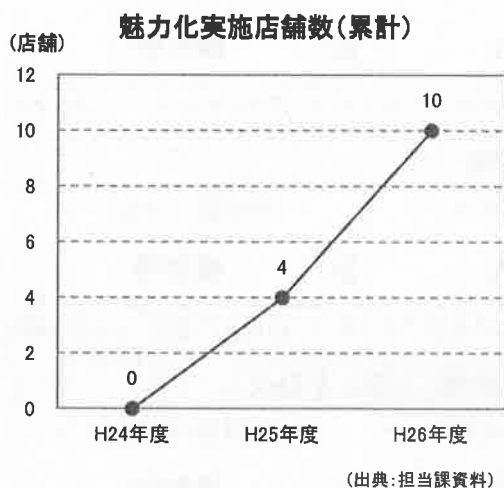
## 現状と課題

### 現状

- 購入時間帯に制約がなく、直接店舗まで足を運ばなくて良い「インターネット」を利用した商品の購入が広がっています。
- 消費者からは、一箇所で買い物ができる大型小売店舗の出店が望まれています。

### 課題

- インターネットによる商品購入が拡大すること等により、店舗で商品を購入する人が減少するとともに、顧客との直接のふれあいの機会が失われつつあります。
- 多様な店舗が存在し、市民の生活を支えていた商店街では、店舗数の減少に伴い、その役割の低下が懸念されます。また、中心商店街の来街者が減少しています。





## 取組み方針

- 魅力ある商品づくりを支援するとともに、コミュニケーションや体験等を通じた買い物を楽しめる店舗づくりを支援します。
- 商店街への人の流れをつくり、活性化を目指します。また、商店街団体が行う販売促進活動を支援します。
- 土地の高度利用を促進し、居住及び店舗等の様々な都市機能の集積を図るとともに、公共用地の有効活用に努め、中心市街地の活性化を促進します。

## 主な事業

- 商品や店舗の魅力化、個性化の取組みの支援
- 商店街団体が行うにぎわいづくりの支援
- 中心商店街における商業者育成や店舗の誘導等による活性化の取組みの支援

## 成果指標

魅力化実施店舗数（累計）		
現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
10 店舗	50 店舗	検討中
【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。（担当課資料）		
商店街団体等主催・共催のイベントの来場者数		
現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
115,400 人	116,000 人	検討中
【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。（担当課資料）		

施策  
4-③

# 工業を振興する

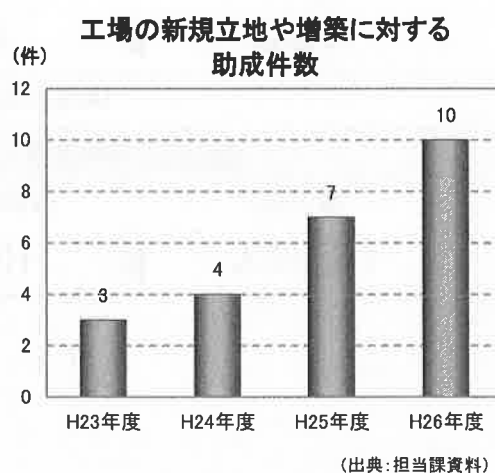
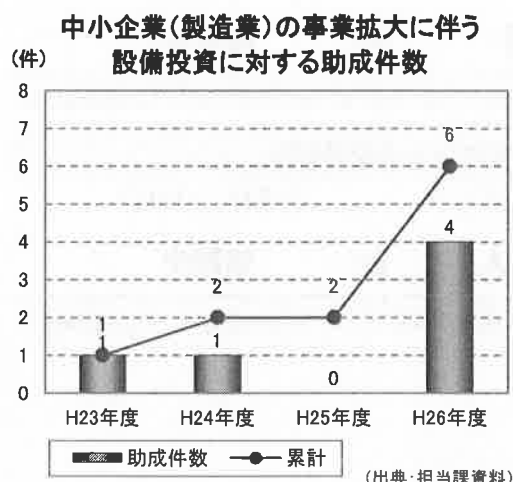
## 現状と課題

### 現状

- 本市の製造品出荷額等は神奈川県内でも有数の規模を誇っていますが、社会経済情勢の影響により減少傾向にあります。
- 広域幹線道路の開通によるアクセス性の向上を背景に、企業立地の需要が高まっています。

### 課題

- 企業のグローバル化は、部品調達の市場においても進んでおり、今後も国際的な企業間競争が続くことが予想されます。
- 企業立地の需要が高まる一方で、生産規模の拡大や、より良好な操業環境を求める工場の移転が懸念されます。



## 取組み方針

- 企業が継続的に事業を行えるよう、新たな技術・製品などの研究開発や企業間の交流などを通じた販路拡大の機会を積極的に支援します。
- 良質な工業用地の保全に向けた取組みを進めるとともに、企業の立地や事業拡大に伴う施設整備を支援します。

## 重点事業

- 企業の事業拡大や設備投資の支援
- 企業間及び大学等との技術や情報の交流や、販路拡大を促す支援
- 産学公の共同研究による新製品、技術開発等の支援

## 成果指標

### 中小企業（製造業）の事業拡大に伴う設備投資に対する助成件数（累計）

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
6件	▶ 16件	▶ 検討中

【備考】現状値は平成27年3月31日現在のもの。（担当課資料）

### 工場の新規立地や増築に対する助成件数（累計）

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
10件	▶ 31件	▶ 検討中

【備考】現状値は平成26年度中のもの。（担当課資料）

施策  
4-④

# 農業・漁業を振興する

## 現状と課題

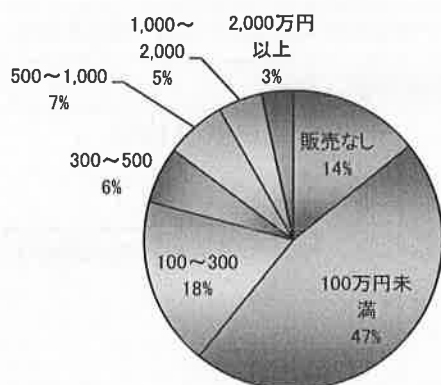
### 現状

- 県内有数の生産量を誇る米、バラ・きゅうり・いちごなどの特産品が有名な農業、シラス・サバ・アジを中心とした新鮮な相模湾の幸を扱う漁業が営まれています。
- 本市の農業は、食料の生産だけでなく、農地の有する多面的機能により、良好な自然環境や居住環境、教育環境の形成に大きく寄与しています。
- 本市の漁業は、市民の豊かな食生活を支えるとともに、市民が海にふれあい楽しむ機会を提供しています。

### 課題

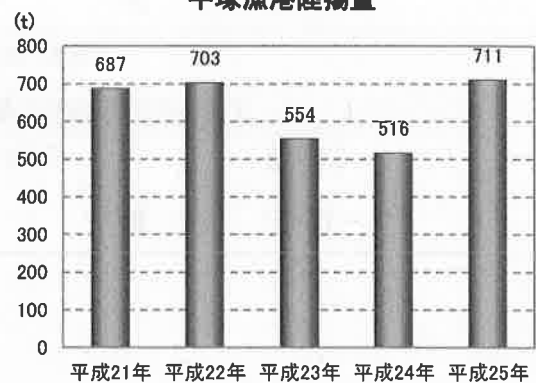
- 農産物の貿易自由化による価格低迷や、為替変動等の影響を受けた資材・燃料の高騰により、農業・漁業の経営悪化が懸念されます。
- 農業・漁業は、地球温暖化や気象等による影響を受け、農水産物の生産量が不安定となる懸念があります。
- 農業及び漁業の生産基盤の老朽化や従事者の高齢化等に伴う担い手不足が進んでいます。

農産物販売金額規模別経営体数  
(平塚市・平成22年)



(出典:農林水産省「神奈川農林水産統計年報」(農林漁業センサス))

平塚漁港陸揚量



(出典:担当課資料)

## 取組み方針

- 生産者と市民の交流を図りながら、農水産物の地産地消や6次産業化を促進し、食の安心・安全への意識の高まりに応えるとともに、付加価値の創造に取り組みます。
- 農業・漁業の経営及び生産基盤の強化を進め、安定した魅力ある産業とし、多様な担い手の確保を目指します。

## 重点事業

- 農業・漁業の経営安定に向けた支援
- 農業・漁業の生産基盤整備の推進
- 農業・漁業担い手の育成の支援

## 成果指標

農地利用集積面積		
現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
105ha	▶ 117ha	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日時点のもの。(担当課資料)

漁港施設の機能保全 (整備率)		
現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
1%	▶ 40%	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日時点のもの。(担当課資料)

施策  
4-5

# 観光を振興する

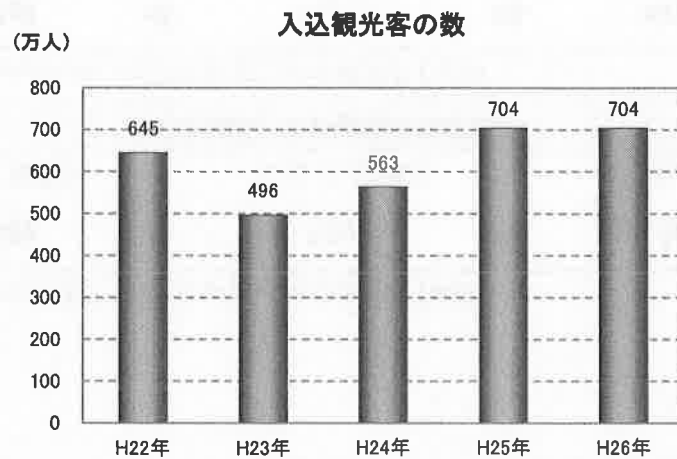
## 現状と課題

### 現状

- 市内各所への入込観光客が増加しています。より多くの観光資源を回りたいといった観光客の声が届いています。
- 本市には平塚八景を代表とする豊かな自然景観、全国に誇る七夕まつりなど多様な観光資源があります。
- 観光資源は、市民生活にやすらぎを与え、また、市民の郷土愛を深めることに寄与しています。

### 課題

- 魅力的な観光拠点がある一方、効果的に連携する仕組みが確立しておらず、魅力を活かしきれいていません。
- SNS など多様な情報伝達手段を活用した、国内外から観光客を呼び込むための情報発信の仕組みが十分ではありません。



(出典：神奈川県観光振興対策協議会資料)

## 取組み方針

- 既存の観光資源の魅力を高めつつ、近隣市町の観光資源をつなぎ、周辺地域一帯での回遊性を高め、誘客の機会を増やします。
- 観光客の様々なニーズに応じた観光メニューづくりを行い、積極的に情報発信することにより、観光客を呼び込みます。
- 広域幹線道路の開通による首都圏からの来訪者の増加を見込み、海岸地域の魅力を高めるとともに、市内を回遊できる流れをつくります。

## 主な事業

- 観光資源の魅力アップ
- 観光資源をつなげた観光メニューづくりの推進
- 観光資源の積極的な情報発信

## 成果指標

入込観光客の数		
現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
707 万人	▶ 736 万人	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 26 年中のもの。(神奈川県観光振興対策協議会資料)

市が関与して作成した観光メニューの件数 (累計)		
現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
0 件	▶ 6 件	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

施策

4-⑥

# 雇用の確保と働きやすい環境づくりを促進する

## 現状と課題

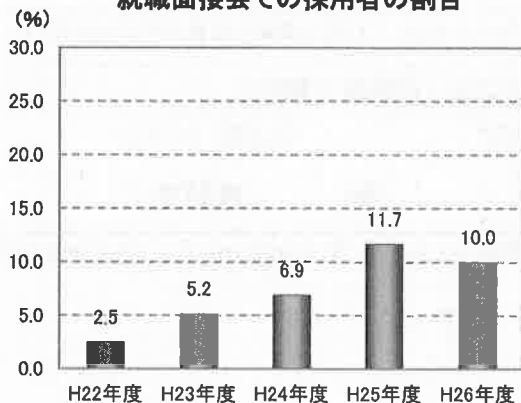
### 現状

- 労働力人口の減少に伴い、これまで以上に高齢者や女性の就業や活躍の機会の増加が期待されています。また、若い世代が安心して働ける環境の整備が求められています。
- 仕事と生活の調和を重視する考え方や育児・介護休業制度の普及、定年延長や短時間労働の導入などにより、就業の形態が多様化しています。

### 課題

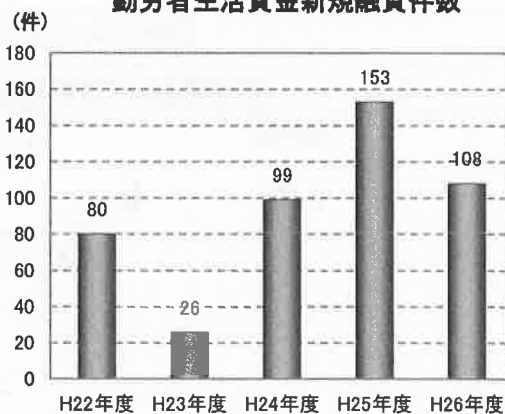
- 求職者が求める労働条件と企業側が求める人材に隔たりがみられます。
- 雇用の形態が多様化し、働き方の選択肢の広がりがみられる一方で、一部では安定した収入の確保が難しくなっています。
- 労働関係法令の頻繁な改正への対応が遅れることで、労働問題の発生が懸念されます。

就職面接会での採用者の割合



(出典:担当課資料)

勤労者生活資金新規融資件数



(出典:中央労働金庫平塚支店資料)



## 取組み方針

- 関係行政機関との連携をより一層強化し、適切な就労支援を進めます。また、後継者や技術者などの人材確保に繋がるよう、様々な企業支援に取り組みます。
- 勤労者に対する融資制度を通じて、生活環境の充実に向けた支援を行います。
- 時節に合った労働問題に関する講演会等を開催し、事業主や勤労者の知識を深める機会を提供します。

## 重点事業

- 就職に向けた活動への支援
- 勤労者の生活の安定と向上の支援
- 労働情勢等に関する知識と教養を深める機会の提供

## 成果指標

### 合同就職面接会に参加した市内の企業数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
16 社	▶ 18 社	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 27 年 3 月 31 日現在のもの。(担当課資料)

### 勤労者向け融資制度の新規利用件数

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
108 件	▶ 110 件	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。(中央労働金庫平塚支店資料)

### 労働セミナー参加者の満足度の割合

現状値	目標値 (H31)	目標値 (H35)
89.4%	▶ 90%	▶ 検討中

【備考】現状値は平成 26 年度中のもの。(担当課資料)

施策  
4-⑦

# 新たな産業拠点の形成を推進する

## 現状と課題

### 現状

- 神奈川県と神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が策定したツインシティ整備計画において、東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と平塚市大神地区を新しい橋で結び、両地区一体となったまちづくりを目指しています。
- 本市では、ツインシティ大神地区を「北の核」として位置づけ、新たな産業や業務機能などの集積を目指しています。
- 大神地区周辺では、さがみ縦貫道路の全線開通に続き、新東名高速道路厚木南インターチェンジの開通が迫るなど、広域交通ネットワークの整備により、ポテンシャルが高まっています。
- ツインシティ大神地区では、土地区画整理組合の設立認可や、相模川にかかる（仮称）ツインシティ橋の都市計画決定などを行いました。

### 課題

- 新たな産業拠点を形成するためには、都市基盤を整備する必要があり、そのための土地区画整理事業促進のための合意形成が課題となっています。
- ツインシティ整備計画でめざす約6,000人の雇用の場を創出するための、企業誘致を図る必要があります。

## 取組み方針

- 組合施行による土地区画整理事業により、良好な都市基盤を創りだし、計画的なまちづくりを進め、産業機能、商業・業務機能、居住機能を適切に配置し、雇用の創出、産業の活性化を図り、本市全体の活力向上につなげます。
- 環境に配慮したまちづくりを実現するため、地権者や地域住民、さらには立地企業も含めた三者協働のまちづくりを進め、環境負荷の低減と、周辺の環境と調和した環境共生都市の形成を進めます。

## 主な事業

- ツインシティ大神地区土地区画整理事業の推進
- 地区外幹線道路（倉見大神線等）の整備促進
- 企業誘致の推進

## 成果指標

### ツインシティ大神地区土地区画整理事業の進捗率

現状値	目標値（H31）	目標値（H35）
0%	▶ 検討中	▶ 検討中

【備考】現状値は平成27年8月現在のもの。（担当課資料）

